一般社団法人 兵庫県公認心理師会
2025 年度 年次報告書

2026 年度 第 5 回定時社員総会

日時 ： 2026 年 6 月 27 日（土） 10:15-11:45

場所 ： 神戸市婦人会館

次第：

開会の辞 （第 2 期前期会長より）

議題

1. 議長の選任、社員総会定足数・議事録署名人の報告

2. 審議事項

第 1 号議案 2025 年度 事業報告及び決算（案）の承認

第 2 号議案 2026 年度 事業計画及び予算（案）の承認

3. その他

閉会の辞 （第 2 期前期常務理事より）

出席者名簿

《第 2 期代議員》

氏名	所属	役員名	総会	意見交換会
樋口 純一郎	神戸市こども家庭センター	会長	○	○
安東 大起	一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド	副会長	○	○
冨永 良喜	兵庫県教育委員会丹波教育事務所	副会長	×	×
谷家 優子	兵庫教育大学保健管理センター、東布施野田クリニック	常務理事 研修委員長	○	○
大野 詩織	一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド、兵庫県スクールカウンセラー	事務局長 広報委員長	○	○
香川 葉月	一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド	医療・産業領域委員長	×	×
中原 由望子	立命館大学	SC・教育領域委員長	×	×
中植 満美子	甲子園大学	福祉・司法領域委員長	×	×
大島 剛	NPO 法人親と子のふれあい研究会	監事	○	○
岡澤 直樹	丹波篠山市立ささやま支援学校		○	○
高田 豊司	関西福祉大学		×	×
髙寄 誠	明石こころのホスピタル		○	×
中村 有生	兵庫県立清水が丘学園		×	×
山根 隆宏	神戸大学		×	×
山本 沙弥香	ひびきこころのクリニック、ひょうご被害者支援センター		×	×

※代議員任期＝2025～2028 年度、理事任期＝2025・2026 年度

計 15 名（うち役員 9 名：理事 8 名・監事 1 名）

開会の辞（樋口会長より）

・台風発生のなか、参集いただき感謝。
・急遽、体調不良で中植理事・山本代議員、電車遅延で中村代議員が欠席。
・当会設立は 2021 年。約 200 名の会員を代表して、15 名の「社員（代議員）」を選出している（代議員制）。その任期が 4 年。よって、第 1 期は 2021～2024 年度、第 2 期は 2025～2028 年度となり、今年 2026 年度は「第 2 期前期の最終年」となる。代議員 15 名から理事 8 名・監事 1 名の「役員」をさらに選出している。役員任期は 2 年であるので、2026 年度が最終年度となり、今年度末には理事再編の選挙となる。また、当会は役員の新陳代謝を目的に、会長任期を最大 8 年としている。わたしは設立当初から会長を務めているが、今年で 6 年目となる。仮に次期当選したとしても、あと 1 期であり、代替わりを意識した年にもしてもらいたい。
・代議員 15 名のうち過半数 9 名が役員となるし、本日出席者 7 名をみてわかるように、非常に小規模な団体である。見知った顔で運営している分、この台風のなかあえて対面実施とした。総会終了後には意見交換会も設けており、忌憚ない意見・提案をいただきたい。

1．議長の選任、社員総会定足数、議事録署名人の報告

議長は、定款 15 条「社員総会の議長は、予め理事会において定めたものがこれに当たる」に基づき、第 33 回理事会（2026 年 6 月 8 日）において、安東 大起 氏（理事／副会長）が選任されました。

社員総会は、当会定款 17 条「社員総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う」、同定款 18 条「社員総会に出席できない社員は、他の社員を代理人として議決権の行使を委任することができる。この場合においては、当該社員又は代理人は、社員総会ごとに代理権を証明する書類をこの法人に提出しなければならない」、同定款 19 条「社員総会の招集を決定する理事会において、社員総会に出席できない社員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使することができる旨の定めをすることができる。この場合においては、書面又は電磁的方法によって行使した議決権の数は、出席した社員の議決権の数に算入する」の規定に基づき、出席者数に、電磁的方法による議決権の行使もしくは委任した社員数を加えた数が過半数（8 名以上）となれば、社員総会の定足数を満たすこととなります。

第 2 期代議員　計 15 名のうち、

出席 6 名　＋　電磁的方法による議決権の行使 7 名　＋　樋口会長への委任 1 名

過半数の出席が確認されたため、本社員総会は成立していることを報告します。

議事録署名人は、定款 21 条「社員総会の議事については、法令で定めるところにより、書面又は電磁的記録により議事録を作成し、議長又は会長がこれに記名押印又は署名（電磁的記録の場合は電子署名）する」の規定に基づき、樋口純一郎会長が電子署名し、電磁的記録を事務局に保管するものとします。

2. 審議事項　（第1・2号議案）2025年度 事業報告及び決算（案）、2026年度 事業計画及び予算（案）の承認

《会長・副会長》

会　　長=樋口 純一郎（神戸市こども家庭センター）

副 会 長=安東 大起（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）、冨永 良喜（兵庫県教育委員会丹波教育事務所）

常務理事=谷家 優子（兵庫教育大学保健管理センター、東布施野田クリニック）

2025年度 事業計画	2025年度 事業報告（案）	2026年度 事業計画（案）
①理事会の招集（隔月1回程度／オンライン） 事業計画・報告（案）の作成 予算・決算（案）の作成 入会承認 適宜、審議事項の決議等	①2025.5.28、6.28（いいオフィス神戸 by KT-joy）、8.5、11.6、2026.1.20、3.30にそれぞれ理事会を招集し（6.28以外はオンライン）、適宜検討事項を協議した（計6回）。 1）2025年度の入会者25名、退会者39名（会費未納による自動退会含む）を承認した。2026.3.31現在で会員201名、昨年度から14名減。 2）各委員会で、領域別研修の開催等の委員会活動を展開した。	①理事会の招集（隔月1回程度／オンライン） 事業計画・報告（案）の作成 予算・決算（案）の作成 入会承認 第2期後期理事・監事選挙 適宜、審議事項の決議等
②一般社団法人日本公認心理師協会全国都道府県公認心理師協会等代表者懇談会 出席（日程未定／オンライン）	②2026.2.21（オンライン）、樋口会長が出席。（以下、主な話題） ・宮城県は新加入、埼玉県は法人化、愛知県は臨床心理士会と合併、愛媛県は新設置等の動きあり。 ・「認定専門指導公認心理師」の申請受付開始。 ・①日本臨床心理士会や公認心理師の会との連携、②会員の資質向上、③会員獲得、が各団体共通の課題。 ・災害支援時の連携のため、緊急連絡先を提出。 ・2028年度より、代議員制導入を審議予定。全国区はなし、推薦者から選挙、連携団体が推薦可という案。	②一般社団法人日本公認心理師協会全国都道府県公認心理師協会等代表者懇談会 出席（日程未定／オンライン）
③近畿ブロック公認心理師職能団体（滋賀・大	③樋口会長・安東副会長・大野事務局長が出席。（以下、主な話題）	③近畿ブロック公認心理師職能団体（滋賀・大

阪・和歌山）連絡会 出席（2025.7.10／オンライン） ④その他、関係機関からの要請に対応（随時）	・各団体とも、入会数が伸び悩み。 ・臨床心理士会と定例連絡協議会を開催している団体が多い。 ④ 1）2025.6.17、日本公認心理師協会より、議連総会（衆議院第二議員会館）の案内あるが、理事の都合つかずに欠席。 2）10.5、兵庫県臨床心理士会と被害者・被災者支援合同研修（デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO））を共催。樋口会長・冨永副会長・中原教育領域委員長が出席。66名（臨士会60名・公師会6名）の参加。『阪神・淡路大震災から30年とこれから』をテーマに、阪神･淡路大震災当時に支援活動を展開したベテラン心理職の体験談や提言を受け、現在の各分野における支援の実践報告を聴き、グループディスカッション。当時を知らない世代にも当時活動やその意志を伝承する機会となった。 3）10.12、日本臨床心理士会全国災害支援担当者会（オンライン）に樋口会長・冨永副会長（ともに全国委員兼ねる）・谷家常務理事が出席。DWAT（災害派遣福祉チーム）や国境なき医師団、他都県の活動報告、ブロック別グループディスカッションという内容。	阪・和歌山）連絡会 出席（2026.7.9／オンライン） ④一般社団法人大阪公認心理師会との合同研修（事例検討会）共催（2026.9.12 予定／大阪市内） ⑤その他、関係機関からの要請に対応（随時）

《事務局》

事務局長=大野 詩織（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）

委　　員=安東 大起（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）、香川 葉月（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）

2025 年度 事業計画	2025 年度 事業報告（案）	2026 年度 事業計画（案）
①事務運営 （事務局管理、ホームページ管理、文書等収発、税務等）	①事務局管理については、新規入会者手続き、会計管理等を行った。ホームページ管理については、研修情報、求人情報等を掲載し、ホームページを更新した。文書等収発は、郵便物やメール等対応した。税務については、研修会謝礼に関する報酬等の支払調書作成を税理士に依頼し、発送した。※	①事務運営 （事務局管理、ホームページ管理、文書等収発、税務等）
②定時社員総会の開催（2025.6.28）	②開催（総会資料を参照）。	②定時社員総会の開催（本日 2026.6.27）
	③2026.3.23、一般社団法人医療の質・安全学会より、第 20 回医療の質・安全学会学術集会（11.7-11.8、姫路市文化コンベンションセンターアクリエひめじ）の名義後援依頼あり、承認。	③関係機関からの後援依頼等に対応（随時）

※会員数の増加に伴い、入退会管理、会費徴収、各種研修会の運営補助等、事務局が担うべき業務量および法的・技術的な要求が急激に増大したため、理事のボランティアによる管理体制では、迅速かつ安定した運営を維持することが困難となりました。
現に事務局業務を担う理事複数が勤務する一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド（児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所）へ事務局業務を一部委託することを、2026.1.20 に理事会で決議しました。委託費は月 30,000 円（週 1 日・3 時間×時給 2,500 円×月 4 日を目安）とし、2025.4 へ遡及して支給することとしました。現在 3 名の事務員が稼働しています。
今後、実際の業務量や負担度を鑑みて、事務局業務のあり方を検討していきます。

《広報委員会》

委員長=大野 詩織（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）

委　員=中谷恭子（兵庫県精神保健福祉センター）、新林 智子（兵庫県スクールカウンセラー）、本田 浩子（愛神愛隣舎）、山本 沙弥香（ひびきこころのクリニック）

2025 年度 事業計画	2025 年度 事業報告（案）	2026 年度 事業計画（案）
①ニュースレター第 8 号の発行（2025.9 頃／ホームページに掲載、連携団体に送付）	①予定どおり発行した。連携団体（公益社団法人日本公認心理師協会、一般社団法人公認心理師の会、近畿ブロック公認心理師職能団体）と兵庫県臨床心理士会に案内した。	①ニュースレター第 10 号の発行（2026.9 頃／ホームページに掲載、連携団体に送付）
②ニュースレター第 9 号の発行（2026.3 頃／ホームページに掲載、連携団体に送付）	②同上	②ニュースレター第 11 号の発行（2027.4 頃／ホームページに掲載、連携団体に送付）

《研修委員会》

委員長=谷家　優子（兵庫教育大学保健管理センター、東布施野田クリニック）

委　員=香川 葉月（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド)、定政 由里子（神戸学院大学)、髙寄 誠（明石こころのホスピタル)、
中村 有生（兵庫県立清水が丘学園)、松本 愛奈（兵庫県立清水が丘学園）

2025 年度 事業計画	2025 年度 事業報告（案）	2026 年度 事業計画（案）
①委員会の開催（適宜）	①2025.8.8、10.10、2026.1.9、3.27、いずれもオンラインで委員会を招集し、適宜検討事項を協議した（計 4 回)。	①委員会の開催（適宜）
②研修会 1）全体研修　年 2 回 2025.6 頃、2026.2 頃（会場未定） 県内の心理職関連団体に後援依頼を予定。	② 1) 夏季全体研修会 (2025.8.31／センタープラザ) ・テーマ『心理職のキャリアの始め方・積み方』 ・話題提供は、下玉利麻由氏（ひょうごこころの医療センター)、岩島陽氏 (丹波篠山市立味間小学校)、松本愛奈氏（兵庫県立清水が丘学園)。 ・参加者は 17 名。 2) 冬季全体研修会 (2026.3.1／兵庫教育大学神戸キャンパス) ・テーマ『心理検査～アセスメント・心理治療・支援を総合的に検討する』 ・話題提供は、若手心理職（兵庫県立清水が丘学園)、指定討論者に樋口会長。	②研修会 1) 夏季全体研修会 (2026.8.9／神戸国際会館セミナーハウス) 2) 冬季全体研修 (12.6／兵庫教育大学神戸キャンパス) 3) 春季全体研修 (2027.2.7／三宮コンベンションセンター)
2）就活イベント（合同説明会）の開催。	2）開催しなかった。	
③兵公心 Café（交流サロン）の開催 (2025.7.4 延期、9.26、12 月頃、2026.3 頃／オンライン)	③ 1）2025.4.25、テーマ『会長・副会長になんでも	③兵公心 Café（交流サロン）の開催 1）2026.5.15／オンライン

	聞いてみよう！』（オンライン） 2）9.26、テーマ『常勤で働くこと、非常勤で働くこと』（オンライン） 3）11.21、テーマ『「コンサルテーション」ってどうやってるの？』（オンライン） 4）2026.1.9、テーマ『障害児通所支援で働く公認心理師』（オンライン） 5）3.6、テーマ『「大学の先生」ってなにしてる？』（オンライン） ・いずれも 30 余名の参加で、テーマによっては学生の参加も多い。 ・「現場の話を聴けるのは貴重」「匿名だから、質問しやすい」「“聴くだけ参加”でもよいので、気軽に参加できる」等の声がアンケートで挙がっている。	2）8.21／オンライン 3）11.20／オンライン 4）2027.2.5／オンライン ④相互扶助関連イベントの開催 キャリア形成・税務・労務などの会員に役立つ企画

《医療・産業領域委員会》

委員長=香川 葉月（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）

委　員=酒見 惇子（神戸大学医学部附属病院）、髙寄 誠（明石こころのホスピタル）、三浦 恵（神戸アドベンチスト病院）

2025 年度 事業計画	2025 年度 事業報告（案）	2026 年度 事業計画（案）
①委員会の開催（適宜）	①2025.10.26、2026.2.11（いずれもオンライン）	①委員会の開催
②領域別研修会の開催（時期・会場未定） サイコオンコロジーと産業分野の研修（がんと仕事の両立支援等）を企画中。技術や理論についての研修と、会員同士の相互交流の場を持てる研修機会を企画していく予定。	②2026.2.22、『がん治療と仕事の両立支援』（ANCHOR KOBE）を開催。本岡寛子氏（近畿大学／みどりトータル・ヘルス研究所）と酒見委員を講師に、医療領域と産業領域それぞれからのがん患者への支援の実際や課題についての講義・ディスカッションを行った。公認心理師に加えて企業における産業保健担当者を含む 12 名の申し込みがあり、11 名が参加した。	②領域別研修会の開催 1）対面研修（2026.10／三宮コンベンションセンター） 「（仮題）ハラスメントを防ぐ職場づくり ― 公認心理師と社会保険労務士の視点から考える予防と対応」 2）研修（2026.9～2026.12 頃／オンライン） 「（仮題）子どものインターネット依存・ゲーム障害の支援プログラムを学ぶ」
③継続した教育機会の確保として、会員のニーズ把握を行う。そのために、全体へのアンケートや研修時のアンケートを適宜検討する。	③上記②にて、アンケート実施。	3)学生向け／求職者向け研修（時期未定／オンライン） 実習までの準備や職場紹介等の企画を検討中。
④精神保健福祉センター等からの依頼があれば、研修受講者等を推薦する。	④2025.12.9 に開催される一般社団法人日本精神保健福祉士協会主催『厚生労働省令和 7 年度心のケア相談研修』（オンライン）の受講者推薦依頼があり、香川委員長を推薦のうえ、出席。	②精神保健福祉センター等からの依頼があれば、研修受講者等を推薦する。
⑤JIMTEF 災害医療研修の受講推薦・参加費一部補助を検討する。	⑤公益社団法人日本公認心理師協会より、JIMTEF 災害医療研修ベーシック/アドバンスコースの受講者推薦の依頼あり、ベーシックコース（2025.10.1～	③JIMTEF 災害医療研修の受講推薦・参加費一部補助を行う。

	10.31）に安東副会長・香川委員長を含む会員 5 名を推薦し、3 名が受講した。また、アドバンスコース（11.22～11.23）に安東副会長・香川委員長を含む会員 3 名を推薦し、安東副会長・香川理事の 2 名が受講した。（ニュースレター（2026.3 号）で報告、参加費一部補助）	

《教育・SC 領域委員会》

委員長=中原 由望子（立命館大学）

委　員=岩井 美香（神戸市特別支援教育相談センター）、岡澤 直樹（兵庫県丹波篠山市立ささやま支援学校）、川元 佳子（兵庫県スクールカウンセラー、大阪府スクールカウンセラー、姫路医療専門学校非常勤講師）、谷家　優子（兵庫教育大学保健管理センター、東布施野田クリニック）、冨永 良喜（兵庫県教育委員会丹波教育事務所）

2025 年度 事業計画	2025 年度 事業報告（案）	2026 年度 事業計画（案）
①SC・教育領域委員会会議を、年間 3 回程度実施する。	①　2025.8.5,9.14,10.17,10.27,11.17,12.22,2026.1.12,2.2,3.9, いずれもオンラインにて, 計 9 回開催。	①委員会を、年間 5 回程度実施。
②SC・教育領域委員会として、年間 1 回程度の研修会を開催する。	②2026.1.18／兵庫教育大学を開催。 ・テーマ『アタッチメントと発達課題を軸にしたアセスメントと対応～SC・教員にできることは何か』 ・講師：松久眞実氏（桃山学院大）	②領域別研修の実施（年 2 回）。 1）2026.8.1／オンライン ・テーマ『いじめ第三者委員会：公認心理師は何をするのか（仮)』(こども家庭庁研修報告) 2）11.28／三宮コンベンション・センター ・テーマ『いじめ・自死を防ぐための学校における心理教育と法的支援』
③兵庫県教育委員会と SC に関する会議・研修等に出席する。 兵庫県教育委員会、兵庫県臨床心理士会等、他の組織との研修共催などの実施に向け、働きかけをしていく。	③2025.7.30／兵庫県教育委員会 ・兵庫県教育委員会生徒指導課, 兵庫県臨床心理士会 SC 専門委員会が出席。 ・Web ストレスチェックや SC 研修会等について, 情報・意見交換。	③兵庫県教育委員会と SC に関する会議・研修等に出席する。 兵庫県教育委員会、兵庫県臨床心理士会等、他の組織との研修共催などの実施に向け、働きかけをしていく。
④兵庫県教育委員会・心の健康観察導入検討委員会への出席及び提言を行う。	④2026.3.26／兵庫県教育委員会 ・兵庫県教育委員会義務教育課, 兵庫県臨床心理	④兵庫県教育委員会・心の健康観察導入検討委員会への出席及び提言を行う。

	士会 SC 専門委員会が出席。 ・スクールカウンセラー，自殺予防教育，心の教育授業案（WEB ストレスチェック）等について，情報・意見交換。	
⑤学校・幼稚園等から依頼に応じて、対応する。	⑤ 1）2025.9.10，兵庫県立三田祥雲館高校より，在校生対象の「職業人講話」の依頼あり，谷家委員が出向。 2）2026.1.30，こども家庭庁より，『いじめ重大事態調査に係る調査委員候補者を対象とした研修』(TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル）へ受講依頼あり，委員長・担当委員等，計 5 名が出席。	⑤学校・幼稚園等から依頼に応じて，対応する。

《福祉・司法領域委員会》

委員長=中植 満美子（甲子園大学）

委　員=高田 豊司（関西福祉大学）、中原 由望子（立命館大学）、樋口 純一郎（神戸市こども家庭センター）、松本 愛奈（兵庫県立清水が丘学園）、三宅 彩加（里親支援センターなごみ）、森 歩夢（関西福祉大学）、若林 亮（信愛学園）

2025年度 事業計画	2025年度 事業報告（案）	2026年度 事業計画（案）
①委員会の開催（適宜）	①2025.11.10（オンライン）で開催。	①委員会の開催（適宜）
②福祉・司法領域委員会として、年間1回程度の研修会を開催する。	②2026.3.8（神戸大学大学院人間環境学研究科大会議室）にて、『福祉領域における多職種連携について～心理職として現場スタッフとどう関わるか』を開催。講師は、河﨑佳子氏（神戸大学大学院）、話題提供者からの報告とグループワークも実施した。司会は中植委員長。30名の参加申込で、参加者の半数が若手・院生であったため、実践者達の語りがよい学びになったと考える。	②福祉・司法領域委員会として、年間1回程度の研修会を開催する。
③その他、兵庫県臨床心理士会福祉領域委員会等、他団体との研修会共催・後援依頼等に対応する。	③2025.12.21、兵庫県臨床心理士会福祉領域研修会（神戸市市民福祉交流センター）を名義後援。テーマは『放課後等デイサービスおよび児童発達支援事業における心理支援～求められる専門性とその学び方』。	③その他、兵庫県臨床心理士会福祉領域委員会等、他団体との研修会共催・後援依頼等に対応する。

貸借対照表

令和 08 年 3 月 31 日 現在

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	1,541,841	2,473,450	-931,609
流動資産合計	1,541,841	2,473,450	-931,609
資産合計	1,541,841	2,473,450	-931,609
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
預り金	164,802	104,238	60,564
流動負債合計	164,802	104,238	60,564
負債合計	164,802	104,238	60,564
Ⅲ　正味財産の部			
１．一般正味財産			
一般正味財産	1,377,039	2,369,212	-992,173
正味財産合計	1,377,039	2,369,212	-992,173
負債及び正味財産合計	1,541,841	2,473,450	-931,609

正味財産増減計算書

令和 07 年 4 月 1 日 から 令和 08 年 3 月 31 日 まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	911,574	1,497,238	-585,664
会員年会費	736,305	995,226	-258,921
研修会参加費	175,269	502,012	-326,743
雑収益	2,046	1,320	726
受取利息	2,046	1,320	726
経常収益計	913,620	1,498,558	-584,938
(2) 経常費用			
旅費交通費	88,345	120,350	-32,005
通信運搬費	52,450	52,278	172
支払手数料	365,120	66,205	298,915
賃借料	244,805	216,210	28,595
諸謝金	593,227	844,898	-251,671
雑費	561,846	37,295	524,551
経常費用計	1,905,793	1,337,236	568,557
評価損益調整前経常増減額	-992,173	161,322	-1,153,495
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-992,173	161,322	-1,153,495
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
一般正味財産増減額	-992,173	161,322	-1,153,495
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	-992,173	161,322	-1,153,495
Ⅱ　正味財産期末残高			
正味財産期末残高	-992,173	161,322	-1,153,495

財産目録

令和 08 年 3 月 31 日 現在

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1.流動資産			
普通預金　　但陽信用金庫／姫路北支店	1,541,841		
流動資産合計		1,541,841	
資産合計			1,541,841
Ⅱ 負債の部			
1.流動負債			
預り金	164,802		
流動負債合計		164,802	
負債合計			164,802
正味財産			1,377,039

2025年度 収支計算書（案）

（2025年4月1日～2026年3月31日まで）

収入総額	3,282,832
支出総額	1,905,793
差引残高	1,377,039

委員会	収入				支出			
	項目	2025年度収入	2025年度予算	2024年度収入	項目	2025年度支出	2025年度予算	2024年度支出
事務局	会員会費	736,305	1,000,000	995,226	事務所賃借料	58,080	58,080	63,360
	雑収益	2,046	0	1,320	税理士契約料	290,400	528,000	0
	前年度繰越金	2,369,212	2,369,212	2,207,890	予備費	144,337	460,664	42,500
					備品費、郵送費	3,277	5,000	5,303
					システム管理費用	49,720	47,468	47,468
					支払手数料	27,720	30,000	23,705
					交通費	20,980	100,000	0
					周年事業積立金	0	400,000	0
					事務局運営費	360,000	360,000	0
					司法書士登記	47,000	50,000	0
	小計	**3,107,563**	**3,369,212**	**3,204,436**	**小計**	**1,001,514**	**2,039,212**	**182,336**
研修委員会	全体研修参加費	84,342	200,000	225,666	全体研修講師謝金	56,000	300,000	215,685
	兵公心café参加費	0	20,000	1,494	基礎研修講師謝金	0	200,000	270,000
	基礎研修参加費	0	30,000	138,537	兵公心café講師謝金	145,000	100,000	41,136
	社会的養護研修参加費	0	0	4,050	会場費	44,250	100,000	103,900
					雑費	83,024	30,000	1,368
					交通費	18,920	40,000	36,490
					就活イベント（合同説明会）	0	150,000	0
	小計	**84,342**	**250,000**	**369,747**	**小計**	**347,194**	**920,000**	**668,579**
医療・産業領域委員会	医療・産業領域研修会参加費	23,328	30,000	15,787	講師謝金	70,000	150,000	73,411
					会場費	127,875	40,000	6,700
					雑費	29,943	30,000	11,946
					交通費	9,510	30,000	4,280
	小計	**23,328**	**30,000**	**15,787**	**小計**	**237,328**	**250,000**	**96,337**
SC・教育領域委員会	教育・SC領域研修会参加費	47,976	30,000	85,680	講師謝金	200,000	16,000	200,118
					会場費	8,000	40,000	35,500
					雑費	12,822	10,000	9,880
					交通費	20,215	20,000	19,420
	小計	**47,976**	**30,000**	**85,680**	**小計**	**241,037**	**86,000**	**264,918**
福祉・司法領域委員会	福祉・司法領域研修会参加費	19,623	30,000	30,798	講師謝金	60,000	150,000	44,548
					会場費	0	40,000	6,750
					雑費	0	30,000	13,608
					交通費	18,720	30,000	60,160
	小計	**19,623**	**30,000**	**30,798**	**小計**	**78,720**	**250,000**	**125,066**
	総計	**3,282,832**	**3,709,212**	**3,706,448**	**総計**	**1,905,793**	**3,545,212**	**1,337,236**

監査報告書

一般社団法人 兵庫県公認心理師会

会長　樋口 純一郎　様

一般社団法人兵庫県公認心理師会定款 25 条「監事は、理事の職務の執行を監査し、法令の定めるところにより、監査報告を作成する」の規定に基づき、2025 年度の事業報告及び決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

2026 年 6 月 1 日

一般社団法人 兵庫県公認心理師会

監事　大島 剛

2026年度 収支予算書（案）

（2025年4月～2026年3月）

収入総額	2,807,039
支出総額	2,807,039
差引残高	0

委員会	収入				支出			
	項目	2026年度 予算	2025年度 収入	2025年度 予算	項目	2026年度 予算	2025年度 支出	2025年度 予算
事務局	会員年会費	1,000,000	736,305	1,000,000	賃借料	65,000	58,080	58,080
	雑収益	0	2,046	0	税理士契約料	290,400	290,400	528,000
	前年度繰越金	1,377,039	2,369,212	2,369,212	予備費	101,919	144,337	460,664
					備品費、郵送費	—	3,277	5,000
					システム管理費用	—	49,720	47,468
					通信運搬費	52,720	—	—
					雑費	50,000	—	—
					支払手数料	30,000	27,720	30,000
					交通費	30,000	20,980	100,000
					租税公課	0	0	0
					周年事業積立金	—	0	400,000
					事務局運営費	360,000	360,000	360,000
					司法書士登記	0	47,000	50,000
	小計	**2,377,039**	**3,107,563**	**3,369,212**	**小計**	**980,039**	**1,001,514**	**2,039,212**
研修委員会	全体研修参加費	160,000	84,342	200,000	諸謝金	500,000	56,000	300,000
	兵公心café参加費	30,000	0	20,000	基礎研修講師謝金	—	0	200,000
	基礎研修参加費	—	0	30,000	兵公心café講師謝金	100,000	145,000	100,000
	社会的養護研修参加費	—	0	0	会場費	150,000	44,250	100,000
	相互扶助関連イベント	30,000	—	—	雑費	30,000	83,024	30,000
					交通費	100,000	18,920	40,000
					就活イベント（合同説明会）	—	0	150,000
	小計	**220,000**	**84,342**	**250,000**	**小計**	**880,000**	**347,194**	920,000
医療・産業領域委員会	医療・産業領域研修会参加費	80,000	23,328	30,000	諸謝金	210,000	70,000	150,000
					会場費	80,000	127,875	40,000
					雑費	30,000	29,943	30,000
					交通費	30,000	9,510	30,000
					研修会参加費助成	105,000	—	—
	小計	**80,000**	**23,328**	**30,000**	**小計**	**455,000**	**237,328**	250,000
SC・教育領域委員会	SC・教育領域研修会参加費	80,000	47,976	30,000	諸謝金	250,000	200,000	180,000
					会場費	62,000	8,000	40,000
					雑費	10,000	12,822	10,000
					交通費	20,000	20,215	20,000
	小計	**80,000**	**47,976**	**30,000**	**小計**	**342,000**	**241,037**	250,000
福祉・司法領域委員会	福祉・司法領域研修会参加費	50,000	19,623	30,000	諸謝金	80,000	60,000	150,000
					会場費	40,000	0	40,000
					雑費	10,000	0	30,000
					交通費	20,000	18,720	30,000
	小計	**50,000**	**19,623**	**30,000**	**小計**	**150,000**	**78,720**	250,000
	総計	**2,807,039**	**3,282,832**	**3,709,212**	**総計**	**2,807,039**	**1,905,793**	**3,709,212**

第 1 号議案

承認 15 名（出席者 7 名＋電子的方法により議決権行使 7 名＋樋口会長への委任 1 名）

反対 0 名

保留 0 名

により，過半数が確認されましたので，第 1 号議案は承認されましたことを報告します。

第 2 号議案

承認 15 名（出席者 7 名＋電子的方法により議決権行使 7 名＋樋口会長への委任 1 名）

反対 0 名

保留 0 名

により，過半数が確認されましたので，第 2 号議案は承認されましたことを報告します。

4. その他

・髙寄代議員：複数委員を務めている。会計に関して、数字として確認すると、さらに集客や入会促進を意識しなければならないと思った。

・岡澤代議員：自動退会者が多いが、入会金の振込を自動振替等にできないのか？

⇒大野事務局長：設定上、クレジットカードによる自動振替のみに選択することはできる。

⇒樋口会長：しかし、クリーンな団体として、現行のように複数支払い（コンビニ払い、ペイジー払い、銀行振込、クレジットカード払い(自動振替選択含む)）の選択肢を提示することが好ましい。支払い方法を狭めるのではなく、払い忘れを促すことが必要。

現行でも、3 年間の会費未納者に対して、支払い促しと入会継続意思を確認するメールを送っている。そこで未納分を支払ったうえで、退会を希望する者もいる。昨年度退会者全員が過去入会費を未納のまま、退会しているわけではない。

・大島監事：入会者のなかで、臨床心理士資格を持たない、公認心理師単独資格者がどれくらいいるか？　一定の割合いるのであれば、そういった会員の希望を拾い、役員にも立候補してもらいたい。

⇒大野事務局長：現在会員登録 208 名中、104 名が臨床心理士資格なし。入会申請時の入力フォームに、「兵庫県臨床心理士会会員の有無」を設けることはできる。

⇒樋口会長：入会申請フォームへの「兵庫県臨床心理士会会員の有無」新設については、理事会審議する。既会員に関しては、アンケート実施する方法しかない。今後検討していきたい。

・岡澤代議員：事務局業務を月 30,000 円で業務委託したが、実際それで業務遂行できているか？

⇒大野事務局長：安東副会長・大野事務局長の職場である一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインドの従業員（非会員）3 名で分担しているが、月によって業務量の差が激しく、年度切り替わり前後は事務が多く、目安業務時間を超えることはある。

⇒安東副会長：一方、樋口会長に総会資料作成や選挙事務等の大部分をやってもらっていることもあり、事務員に業務移行していくことも課題になっている。

閉会の辞（谷家常務理事より）

・承認された事業計画やいただいた意見・提案に基づき、今年度も事業を進めていきたい。
・このあとの意見交換会では、総会では発言しにくかった、もしくは時間の足りなかったことも、積極的に発言もらいたい。

署名 樋口 純一郎